

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	総合政策部
	17094	ホームページ情報発信事業	課名	政策課 広報秘書G
	施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化	財務科目	01:一般会計
	基本施策	02:市民参画・協働の推進と多様な交流活動の促進	科目	02:総務費
	施策の方向	01:市民参画・協働の推進	項目	01:総務管理費
戦略プロジェクト	-	目	02:広報活動費	
事業予定期間		H 19 ~ R 年度	主な根拠法令要綱等	

目的・概要	対象	市民及び市外の人
	目的	市内外の人が、市の施策や魅力をどこでも必要な時に習得できるよう、ホームページにより情報を発信する。また、より身近で情報を取得しやすい環境を整え、市民参画や協働を促進するため、フェイスブック等のSNSツールを利用するなど、ICTを活用したコミュニケーション機能の充実を図る。
概要	市ホームページにより、タイムリーで安定的な市政情報の発信を行うとともに、他の広報媒体と連動した全庁的な情報発信力の強化を図るため、ウェブアクセシビリティやSNS等に関する職員研修を継続する。また、より効果的かつ効率的なホームページ運用のため、現行のシステムを見直し、シティプロモーション専用サイトとの統合やサーバのクラウド化を含めた研究・検討を行い、システムの更新を行う。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業の計画・実績	年度計画	ホームページの運用 ・サーバの賃借 ・ホームページでの情報発信 ・保守管理 ・システム更新に関する研究・検討 CMS操作・アクセシビリティ・SNS活用等の研修の実施(年1回)	ホームページの運用 ・サーバの賃借・利用 ・ホームページでの情報発信 ・保守管理 ホームページ更新準備 ・ホームページ構成検討 ・ページ作成 CMS操作・アクセシビリティ・SNS活用等の研修の実施(年1回)	ホームページの運用 ・サーバの使用 ・ホームページでの情報発信 ・保守管理 CMS操作・アクセシビリティ・SNS活用等の研修の実施(年1回)	
	年度実績	ホームページの運用 ・情報発信件数 1,854件 ・フェイスブック掲載件数 127件 ・賃借契約によるハード・ソフトウェアの保守 ・システム更新に関する内容・経費に関する情報収集・検討 CMS操作・アクセシビリティ・SNS活用等の研修の実施(3月)	ホームページの運用 ・情報発信件数 2,058件 ・フェイスブック掲載件数 116件 ・サーバの賃借、ハード・ソフトウェアの保守 ホームページ更新 ・ホームページリニューアル		
事業の計画・実績	計画額	事業費	6,700千円	10,500千円	4,300千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	520千円	500千円	500千円
	予算額	事業費	6,684千円	10,330千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	520千円	475千円	
	決算額	事業費	6,584千円	10,157千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	453千円	407千円	
人件費	総人件費	3,925千円	6,271千円	0千円	
	一般職員	3,925千円	6,271千円	0千円	
	所要人員	0.50	0.80		
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(+)		10,509千円	16,428千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	ホームページ年間更新件数	計画値	1,500	1,700
		ホームページ(新規・既存)の年間更新件数	実績値	1,854	2,058
			単位	件	件
	名称	ホームページ年間閲覧件数	計画値	610,000	620,000
		ホームページの年間閲覧件数	実績値	693,453	939,908
			単位	件	件
	名称	SNSでの年間情報発信件数	計画値	170	180
		フェイスブックでの年間情報発信件数	実績値	127	116
			単位	件	件

事業の改善	前評価	<p>【前回評価の対応方針の概要を記入】</p> <p>フェイスブックについては、他市の投稿例も参考に、催し以外の情報を積極的に発信するよう各課に促す。また、情報の「見つけやすさ」については、ホームページ更新作業時にカテゴリーや階層等の見直しを行うことで改善を図る。</p>
	改善行動	<p>【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】</p> <p>フェイスブックにおける情報発信については、コロナ禍の影響やホームページリニューアル等による業務量の増もあり促進できなかった。情報の「見つけやすさ」の改善については、ホームページリニューアルにおいて全庁的に意見も聞き、カテゴリーや階層の見直しを行った。</p>

		評価	(判定)
事業の評価	活動	<p>【計画どおりに実施できたか】</p> <p>ホームページにおける情報発信については、新型コロナウイルス感染症関連の情報の増により計画値を超える2,058件の行政情報の発信を行った。一方、フェイスブックにおいては、催しの減等から、計画値を大きく下回る116件の投稿に留まった。また、ホームページの更新については、計画どおり、市サイトとシティプロモーション専用サイトのシステム統合、サーバのクラウド化、CMS(コンテンツ・マネジメント・システム)のバージョンアップを10月に、デザインやカテゴリー等の見直しの上、新ホームページの公開を3月下旬に行った。</p>	B まずまず実施できた
	成果	<p>【成果は順調に上がったか】</p> <p>市民ニーズの高い情報をタイムリーに発信したことにより、閲覧数は計画値の1.5倍となった。また、ホームページリニューアルによるウェブアクセシビリティの観点における情報の探しやすさ・分かりやすさの向上をはじめ、シティプロモーションの観点における市の魅力の発信性の向上、安定したシステム管理の観点における安全性の確保等に繋がった。</p>	B まずまず成果を得た

今後の対応方針	課題	<p>【課題は何か】</p> <p>フェイスブックでの情報発信をいかに増やすかが課題である。また、情報の「見つけやすさ」について、ホームページリニューアルによって向上したか動向を確認するとともに、引き続きウェブアクセシビリティの向上を図っていく必要がある。</p>	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 <p>【その他の場合、その内容を記載】</p>
	対応	<p>【課題に対し、どのように対応するか】</p> <p>フェイスブックについては、市の事業や取り組み、新型コロナウイルス感染症に関連する情報、各種啓発など、催し以外の情報発信に努める。また、SNSの活用について現状分析を行い、改善策を検討する。情報の「見つけやすさ」については、ホームページアンケートの動向を見ながら、必要に応じて各課と相談の上、向上を図る。</p>	
	効果	<p>【対応することで、どのような効果が期待できるか】</p> <p>ホームページの閲覧者が必要な情報に容易にアクセスでき、タイムリーで魅力的な情報を得られることで、市政に関する理解や関心が高まるほか、市民や団体等様々な主体による交流が活性化される。</p>	
対応時期		令和3年度～	

【1次評価者】	総合政策部 政策課 広報秘書グループリーダー 末崎 照美
【最終評価者】	総合政策部 政策課長 笠井 武洋

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B	B	B	
	成果	B	B	B	B	

令和2年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		10,330 千円
内訳	令和元年度からの繰越額	千円
	令和2年度の最終予算額	10,330 千円
	令和3年度への繰越額	千円